

日本都市情報学会通信

日本都市情報学会事務局
TEL 0425(21)4191 FAX 0425(21)4193

〒190 東京都立川市曙町2-13-3 立川三菱ビル5F
振替 東京 6-92037

☆第7回全国大会盛会裡に終了☆

大会実行委員長 辻井重男 (東京工業大学)

日本都市情報学会では第7回全国大会を去る1992年9月28日(月)、29日(火)の2日間にわたり、統一テーマ「多極分散の推進と情報化」のもとに、東京工業大学大岡山キャンパスを会場として開催しました。

基調講演のほか、シンポジウム、ワークショップ、研究発表(自由論題)の各セッションに分れ、講演、パネルディスカッション、発表が行われ満員のフロアの参加者達とも活発な討論が行われ、また、第1日目の夕方からは東京工業大学百年記念館フェライト会議室を会場として懇談会が盛大かつ和やかに行われました。

9月28日(月) 午前

〈基調講演〉

総合司会：辻井重男 (東京工業大学)

宮崎 緑 (NHK・東京工業大学)

基調講演(1)「情報社会づくりの技術的展望」

東京工業大学学長 末松 安晴

基調講演(2)「首都移転をめぐる最近事情」

国土庁大都市圏整備局長 内藤 勲

基調講演(3)「多極分散はこうすればできる」

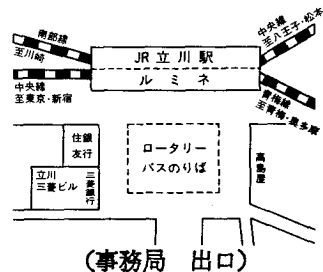
東京女子大学教授 伊藤 善市

学会事務局移転のお知らせ

去る平成4年12月14日から新住所に移転いたしました。
今後とも、よろしくお願い申し上げます。

新住所 〒190 東京都立川市曙町2-13-3
立川三菱ビル5階

電話 0425(21)4191
FAX 0425(21)4193
振替 東京 6-92037



9月28日(月) 午後

〈A系列 シンポジウム(A1)〉

「多極分散をどう実現するのか」

座長：伊藤 滋(慶応大学)

小出 治(東京大学)

パネリスト：「多極分散と地方行財政の課題」

一河 秀洋(中央大学)

「多極分散をどう実現するか」

秋本 敏文(国土庁)

「多極分散をどう実現するか」

石井 幸孝(JR九州)

〈B系列 ワークショップ(B1)〉

「多極分散を支える地方都市の情報システム整備」

座長：松行 康夫(東洋大学)

小林 紘(日本下水道事業団)

報告：「浜松市における情報ネットワークづくり」

村木 朗(浜松市)

「宇都宮市における情報システム整備について」

山口 直人(宇都宮市)

〈C系列 研究発表・自由論題(C1)〉

座長：小林 駿介(東京農工大学)

岡部 篤行(東京大学)

学会誌(第6号)論文の投稿募集のお知らせ

「日本都市情報学会学会誌第6号」への研究論文の投稿を募集します。研究論文は、編集委員会のもとレフェリー制度により審査され、採用されたものは「研究論文」として掲載されます。投稿は常時受け付けていますが、第6号掲載文については、次の通りです。

1. 投稿希望申込締切 1993年3月末 必着
2. 投稿希望申込方法 当学会事務局にハガキで、標題、氏名、連絡先住所、電話番号、枚数(400字詰)を記入して申込む
3. 投稿締切日 1993年5月末日(厳守)

発表：「地域密着型メディアとしてのCATVの現状」

籠 義樹（東京工業大学）

朝倉 暁生（東京工業大学）

原科 幸彦（東京工業大学）

「兵庫県における地域情報化構想について」

安井 宏（筑波大学）

「ヨーロッパ先進諸国における逆都市化現象とその背景」

井上 裕（新潟産業大学）

<A系列 シンポジウム（A2）>

「多極分散を促進する情報システムづくり」

座長：辻井重男（東京工業大学）

谷村秀彦（筑波大学）

パネリスト：「多極分散を促進する情報システムづくり」

栗原 勝（浜松市）

「多極分散を促進する情報システムづくり」

瀬谷 重信（NTTデータ通信㈱）

「多極分散を促進する情報システムづくり」

宮崎 緑（NHK・東京工業大学）

<B系列 ワークショップ（B2）>

「分権をになう自治体情報システムのあり方」

学会誌（第6号）原稿の投稿募集のお知らせ

「日本都市情報学会学会誌第6号」への投稿を募集しています。投稿ご希望の方は、3月末日までに、事務局まで所属・氏名・投稿区分・題目をFAXまたはハガキでお申込下さい。

①論説 ②研究発表 ③事例発表 ④研究ノート ⑤書評 ⑥「会員の声」

⑦「おもしろ都市情報学」

注

(1) ①～④については、次によります。

ワープロ作成原稿を原則とし、A4版（縦使い） 1行22文字×38行
20枚程度（図表を含む）

手書き原稿の場合は、横書き原稿用紙 200字詰 80～85枚程度

(2) ⑤については、ワープロ作成原稿（同上様式） 2～4枚

(3) ⑥、⑦については、本号末尾の「学会事務局だより」を参照

◆原稿提出期限：1993年6月末日（期日厳守）

◆問合せ、提出先：本学会事務局 TEL 0425(21)4191 FAX 0425(21)4193

座 長：千歳 寿一（お茶の水女子大学）

牧野 清文（自治省）

報 告：「パソコンLAN」

佐藤 明夫（逗子市）

「地域情報化における岡山市都市情報システムの役割」

—地図データはいかに位置付けられるか—

澤田 伸二（岡山市）

「仙台市の情報化施策について」

稲葉 信義（仙台市）

<C系列 研究発表・自由論題（C2）>

座 長：望月 仁（明星大学）

原科 幸彦（東京工業大学）

発 表：「現代中国における公経営計画モデルの展開と評価」

松行 康夫（東洋大学）

譚 礼躍（電気通信大学）

「東京一極集中問題におけるマクロ的都市分析の一手法の果たす役割」

西浦 定継（東京大学）

「土地利用混合の解析手法としての土地利用構成比関数」

吉川 徹（東京都立大学）

9月29日（火） 午前

<A系列 シンポジウム（A3）>

「高感度情報人を地方都市は“定勤”させうるのか」

座 長：田村 紀雄（東京経済大学）

原田 行男（福井県立大学）

パネリスト：「高感度情報人を地方都市は定勤させうるか」

金岡 幸二（㈱インテック）

「高感度情報人を地方都市は“定勤”させうるのか」

紅野 敏郎（早稲田大学・山梨県文学館）

「高感度情報人と地方都市」

鈴木 秀郎（㈱セイノー情報サービス）

〈B系列 ワークショップ (B3)〉

「情報発信「脳力」を発揮する地方中核都市の組織づくり」

座長：茶谷 達雄 (東京経営短大)

中田 和男 (宇都宮市)

報告：「自治体業務に対する今後の情報整備のためのシステム構築の視点」

五十嵐寧史 (東京工業大学)

「情報発信能力を発揮する地方中核都市の組織づくり」

—情報都市における組織デザイン、組織文化、組織政治—

坂野 達朗 (日本社会事業大学)

「情報発信「脳力」を発揮する地方中核都市の組織づくり」

福島 斉 (松下電器産業㈱)

〈C系列 研究発表・自由論題 (C3)〉

座長：一瀬 智司 (石巻専修大学)

新井 潔 (近畿大学)

発表：「中小企業情報システムをモデルケースとした地域と行政の情報交換に関する基礎的研究」

米谷 直記 (東京工業大学)

住友 俊保 (東京工業大学)

熊田 禎宣 (東京工業大学)

「CAIにおける数式回答処理について」

最首 和雄 (明星大学)

「社会的意志決定における合意形成過程の理論的考察」

木谷 忍 (東北大学)

松井 啓之 (東京工業大学)

〈シンポジウム〉

「日本を世界の先端情報ポートにする方法」

座長：熊田 禎宣 (東京工業大学)

坂庭 好一 (東京工業大学)

パネリスト：田村 紀雄 (東京経済大学)

茶谷 達雄 (都市情報システム研究所・東京経営短大)

原科 幸彦 (東京工業大学)

コメンター：宮崎 緑（NHK・東京工業大学）

坂野 達郎（日本社会事業大学）

新井 潔（近畿大学）

〈閉会式〉

総括と挨拶 日本都市情報学会会長 秋山 穰（櫻美林大学）

なお、上記の各発表及び講演の概要は「大会予稿集」としてまとめられています。残部があり、実費頒布（1,000円送料別）しておりますので事務局までお問い合わせ下さい。

☆日本都市情報学会学会誌第5号刊行☆

投稿論文の補正のため、発刊が遅れています。第5号の刊行は、印刷を急いでおりますので、しばらく御待ち下さい。

会員外でご必要な個人及び機関の方には、第1号、第2号、第3号、第4号ともに2,000円（送料とも）で頒布しておりますので、事務局までお申出ください。

（事務局）